

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	帯広市総合ケアセンター百年の森		
○保護者評価実施期間	2025年10月13日		～ 2025年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年11月13日		～ 2025年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	介護との共生型なので幅広い年齢層の人たちと過ごすことができ、お互いに意識し合い、交流を通して挨拶や気遣いが期待できます。高齢者との関わりに戸惑いを感じる子もいますが、興味のある活動を企画することで距離を縮めていけるようになり、周りの人にも目を向ける力が広がっています。	一緒に楽しめる季節の行事を企画したり、日常のレクリエーションに自然と参加できるようにスタッフ間で話し合っています。	子ども達の得意な事、気持ちを汲み、意欲が上がるような活動を企画したり、声かけをしています。介護と連携しながらレクリエーション以外の場面でも、お手伝い等を通して、いつでもコミュニケーションが図れるようにしていきます。
2	保護者様からの相談に対して、丁寧に応じています。	事業所内に看護師、柔道整復師も在籍しているので、ご家族やスタッフが気になったことを相談し、お子様の状況を直接見て、個々に合わせたアドバイスをいただく事ができます。	引き続き必要に応じてアドバイスの活用をしています。セルフプランの利用者様、ご家族の困りごと、ご相談に応じ、ケア会議等が必要な時は事業所側から提案していきます。
3	長期休みや季節に応じて、調理や縁日、郊外療育等行う等していました。今年は、百年の森の活動を知ってもらうために地域の学校に声をかけていました。	調理や縁日は子ども達と一緒に企画、計画を立てたりして準備から片付けまで子ども達と行っています。 郊外療育は安心、安全に遊べるように下見に行ったり、体験先と打ち合わせをして計画を立てています。 今年は地域の学校に声をかけて、ボランティアや演奏会で交流に繋がりました。また合同相談会の手伝いを通して、他の事業所と情報交換をしています。	引き続き子ども達の希望を聞きながら計画を立案したり、天候や年齢に応じた体験できる場所を増やされるように、地域の情報を収集したりしていきます。 地域の大学や高校に声をかける事は継続し、さらに地域の方々に百年の森を知ってもらえるように情報収集や声掛けをしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者、スタッフ募集に繋げるために百年の森の活動をInstagramを利用して発信しているが、反響が少ない。保護者様から最近になって百年の森のInstagramに気付いたが、積極的に広報発信されていないのご指摘がありました。	Instagramを始めた時に利用者の家庭にはお便りで伝えていましたが、その時はInstagramを活用していなかったり気付かなかったご家庭もあったようです。また、情報の内容が現在はイベントの 때가殆どで発信の間隔が開く時もありました。	日常の何気ない行動、ちょっとした行動に「いいな」と思える瞬間もあります。そのような場面も発信して、子ども達や百年の森の魅力を発信していきたいです。発信した時には、送迎の時に会えるご家庭や子ども達にも声をかけていきます。
2	ご家庭との連携は電話やメール、面談で随時対応していますが、連携にばらつきがあります。	面談は希望があった時に随時行くと伝えていますが、周知不足がありました。	ご希望に合わせて面談ができる事をお便りや送迎で直接お会いした時に、よりお伝えしていきます。
3			